

(プロローグ) 各委員の意見に対する決定事項

委員名	意見の概要	和光市史編さん委員会決定事項
1 寄口昌宏 委員	P2 上段 18 行目 「埼玉県最南端に、やや東よりに位置し」…埼玉県最南端ではない P2 下段 2 行目 「電車で 20 分足らず」→「電車で 15 分足らず」	「南端に位置し、」に変更します 「急行電車で 13 分足らず」に変更します
2 中蔦裕猛 委員	P3 上段後ろから 3 行目 全国的に温暖化が進んで～ 全国的というより、地球温暖化なので『世界的』『世界規模の』という表現ではいかが ----- P3 下段後ろから 5 行目 第五次総合計画→第五次総合振興計画	「世界的に温暖化が進んでいる」と修正します ----- 「第五次総合振興計画」と修正します
3 宮瀧交二委員長は、佐々木寛司監修者とともに、各委員の意見を取りまとめながら意見をいただきます		
4 鈴木敏弘 委員	P2 下段 8 行目 武蔵野台地の東縁→ 武蔵野台地の北縁 下段 15 行目 開墾、そして→開墾、進駐軍の米軍基地から現在の自衛隊基地、そして	「武蔵野台地の北東端」とします ご意見のとおり修正します
5 小柳一彦 委員	P2 上段後ろから 2 行目 東は東京都板橋区～戸田市に隣接している。→和光市の歴史をふりかえるの冒頭と同じなので、削除しても良いのではないのでしょうか。	和光市史平成版の最初に出てくる和光市の位置の紹介なので、原稿のままとします
6 田中明委 員	特になし	

7 田中俊委員	P2 下段 8 行目 「標高 20～40 m」とあるが、「和光市の歴史をふりかえる」P2 上段 9～10 行目には「標高 27～40 m」とある。整合した方が良いと思います。	ご意見を踏まえ、「武蔵野台地の北東端にあり、標高二〇～四〇m」と修正します。
	P3 下段右から 4 行目～5 行目 「年度ごと」→「年ごと」とする (前段の実績は暦年で表示しています)	気象部分の本文は削除し、下段にグラフや図を掲載します。
8 伊藤芳夫委員	特になし	
9 川曲幸生委員	特になし	
10 佐々木好評委員	特になし	
11 牧田忍委員	別紙 2 のとおり	和光市史編さん委員会決定事項のとおりです。
12 佐々木寛司委員		
事務局	別紙 3 のとおり	和光市史編さん委員会決定事項のとおりです。

「プロジェクト」の意見に対する決定事項

該当 ページ	意 見 ・ 要 望	和光市史編さん委員会決定事項
P 2	後ろから9行目 小見出し 気象・地勢でも良いのですが、文面の内容的には、気候・地形に近い感じがします。言葉尻の問題なのでこだわりません。	原稿のままとします。
P 4	P 4 上段部はライター氏独特の冗長な文体と感 じる。しかし、こうした文体に慣れたこともあり、 文章に熱を感じるようになった。	
	上段、末尾。都市と田舎…かつての市長。マツ モトさんが多用していた言葉であるが、田舎の フレーズに白々しさと違和感を感じる。	都市部と地方部との環境を兼ね 備えた和光市を強調する語句と して使用していますので、原稿 のままとします。
	下段。若い方の和光市の捉え方は郷土意識を反 映していると感じます。が、下段8行目で和光 に愛着を感じる若者だけを印象的と持ち上げる のは不公平。中立性に立つならば、若者意識調 査のデータを載せるべきでインタビューの感 想を強調するのは作爲的。	インタビューの感想ではな く、「和光市」が東京に隣接し た都市であるということを強く 感じる人が多い中で、あくまで 「埼玉県」の中の和光市に誇り を持つ人がいて、その意見を掲 載したものですので、原稿のま まとします。